



地球環境問題 環境ルネサンス forest in city

建築概要

建築場所	山梨県甲府市塩部	外部仕上げ	
主要用途	個人住宅 賃貸住宅	屋根	防水モルタルシート防水
用途地域	第一種住居地域	外壁	ジョリパッド仕上げ
上限	容積率200% 建蔽率60%	開口部	アルミサッシ など
敷地面積	36,583.97㎡+11,463.39㎡ =48047.36㎡		

内部仕上げ
壁・天井 PB EP
床 フローリング など

面積上限

建築面積	延床面積
西側 21,950.38㎡	西側 73,167.94㎡
東側 6,878.03㎡	東側 22,926.78㎡
合計 28,828.41㎡	合計 90,094.72㎡

設計趣旨

地球環境問題

人類は古くから文明を発展させてくる過程で自然環境を資本として利用してきた。天然資源を原材料に物を作ったり、燃料を使ったりすることで、原始的な狩猟採集生活に比較してはるかに高い生産力を実現したのである。しかし、自然環境を利用することで、否応無しに自然環境に負担をかけることになる。

少しでも自然に手を加えれば負担が発生するが、自然は自己修復性を持っており、ある程度の負担までは短期間で回復可能である。具体的に自己修復性とは、植物が伐採されたあと再び芽生えて元のように成長したりすることである。自然が持つ自己修復性を超えて負担をかけたり、自己修復性が損なわれたりすると、回復が遅れ、結果的に人類をはじめとした生物に悪影響を及ぼすことになる。数十万年前から、人類は自然環境に負担をかけていたと考えられるが、自己修復性を超えて過剰に負担をかけることは多くなかったと推定されている。これは、そもそも当時は人口が少なく生活単位も小さいため、短期間に大量に天然資源を利用したりすることが少なかったことが原因である。しかし、人口が増えたり、コミュニティが密集してくると、しだいに悪影響が見られるようになってきた。紀元前に存在した古代エジプト文明やインダス文明などは、森林の過伐採による砂漠化が文明衰退の原因とも指摘されている。18～19世紀にヨーロッパを中心に産業革命・工業化が広まった頃から、さまざまな悪影響が顕在化し始めた。その後酸性雨、オゾンホール、異常気象、地球温暖化など全地球規模の環境の変化が際立ってくるにつれ、人々の環境問題に対する関心は徐々に高まってきた。

現在、環境問題、特に地球環境問題は、貧困や紛争などと並んで主要な国際政治問題、社会問題の1つと位置づけられている。国際的な議論や取り組みがいくつか実行され、一部は効力を表しているが、地球温暖化など対策が不十分とされるものも存在する。また、経済発展に絡んだ生活の向上との折り合いが付かなかったりして行き詰まり、ライフスタイルを改めるなど抜本的な対策を行おうとする動きもある。

案内図 (航空写真)

甲府駅より徒歩20分



環境ルネサンス

14世紀イタリア・トスカナ地方の諸都市を中心に、教会やイスラム世界、東ローマ帝国の保存していた古典文化の影響を受けてそれらの文化を復興しよとする歴史的・文化的運動が始まった。これが世に言う「ルネサンス」である。

ルネサンス Renaissance という語は「再生」（re- 再び + naissance 誕生）を意味するフランス語で、意識革命を意味することもある。この時代活版印刷術、羅針盤、火薬が発明され、ルネサンスが近代の始まり、と言われといる。人々の意識革命を機に新時代が始まったのである。

環境問題が深刻化した現代においてもっとも必要なことは、大きな意識革命である。産業革命以降人類は”便利さ”という間違っただ豊かさを求め結果的に地球を破壊し続けてしまっている。この莫大な問題である環境破壊を阻止し、地球環境を保護するには、そんな便利さを主体とする意識、言い換えるならモノや金中心の志向を自然・環境を主体とする意識に変えていかななくてはならない。これが「環境ルネサンス」である。

この数年の間で、このような地球環境を考慮した生活の動き、活動が目立ち始めている。それは環境への負荷を最小限に抑え商品を生産できるような企業の開発から、3R(リデュースreduce 廃棄物の発生抑制、 リユースreuse 再使用、 リサイクルrecycle 再生利用、再資源化)を行い、モノや資源を有効に活用する個人の活動までさまざまである。

forest in city

forest in city…直訳すると都市内の森。都市環境の内部に建築と一体化した、自然、植物を増やすことを目的とした、集合住宅の建築プランである。

コンセプトは「建てるために植える」である。現在の建築物は、建築するための土地の木を切り土を掘削することから始まる。人口増加に伴い、人が暮らすための場所・「家」が必要となり新たに山が削られていく。いわば現代の建築物を構成するには自然破壊が大前提となっているといえるだろう。そして建築物は循環型の自然環境の中の不純物質である。それでも人類には建築物が必要である。それならば、建築を建てるために木を切るのではなく、木を保存しつつ建築する。さらには、建築した際に自然環境を増やせば建築による自然破壊が阻止できるのではないか、そんな単純な考えがコンセプトになっている。ここに暮らす住民は、土地の一部を賃貸(又は購入)し家を建てる。その際一本の苗木又は樹木を住宅の中庭に植える。または、既存の樹木が中庭に配置されるような形で設計する。

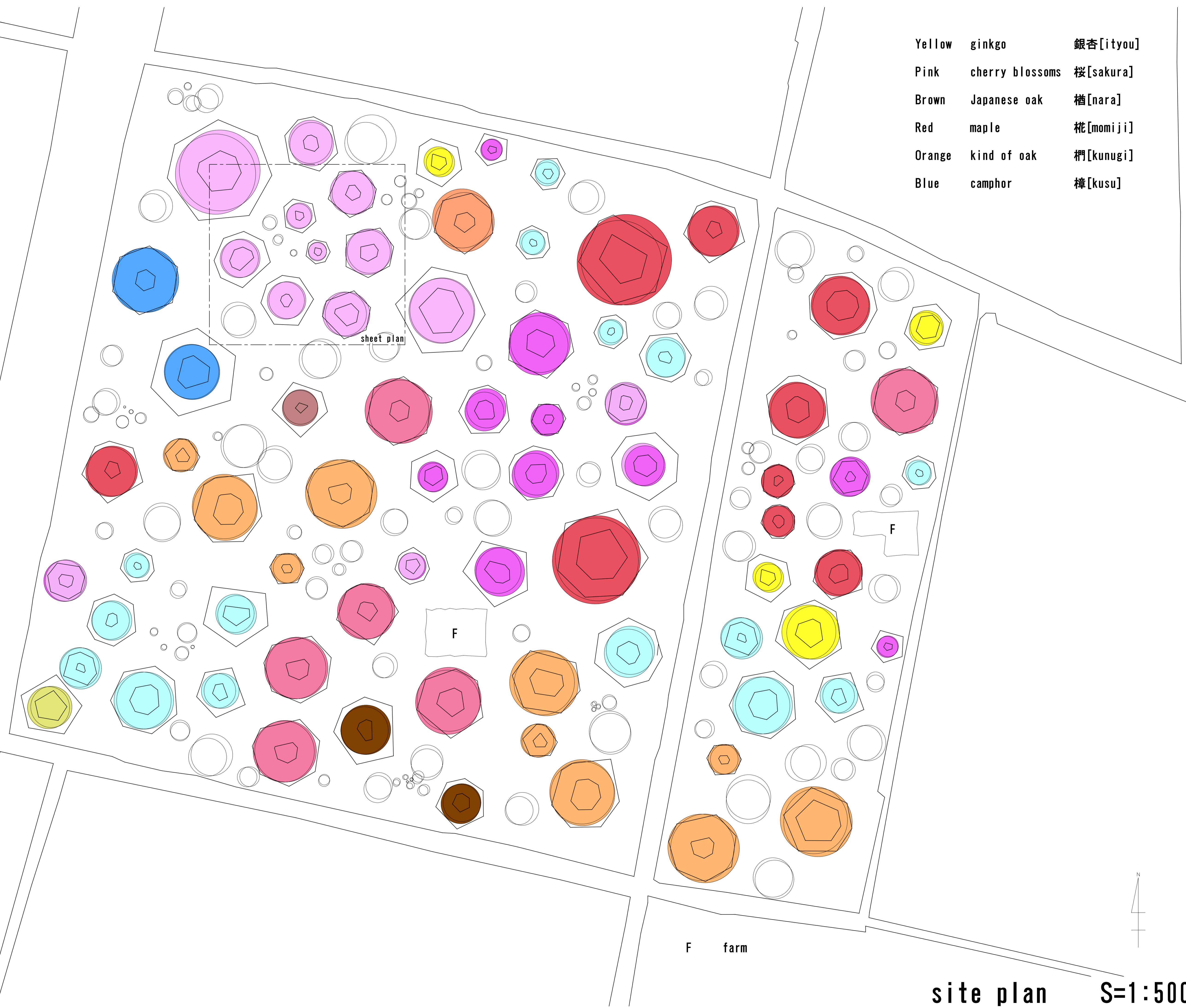
木の元に人間が暮らす。これがルールであり、「建てるために植える」ということである。そうすることで、家を建てるたびに樹木(自然)が増え、家と樹木の群となってやがてそこには人間の手によって森が構成される。そして、土地の中に増殖しきれなくなるとほかの土地にも広がり、やがて都市部のあちらこちらにそれぞれの『forest in city』(都市内の森)が点在することになる。私は山梨県の主要都市である甲府市の塩部地区に半空想の土地を設けこの『forest in city』を構成した。これはほんの一例であって、首都内や海外の都市、さらには地方都市、いってしまえば人間の暮らすところならどこにでもこの”森”は広がっていく。

この建築プランには自然環境の増大の他にも大きな意味がある。それが、「環境ルネサンス」である。この家はまさに樹木の根元に建っている。幹から伸びた枝は屋根の上に覆いかぶさり、その枝が葉が雨・風から家を守る。そして、夏には気持ちのよい木陰をつくり、冬は葉を落とした枝の隙間から溢れ出た暖かな木漏れ日が家を包む。その土地にあった木が、また自分で苗木から育てた木が家のため、住人のために働くのである。住人は恩返しに木に手入れを加え愛情を注ぎ大切に育てる、そのために家のあらゆる場所から中庭の木を見守ることができる環境が整っている。木はそれぞれの家、家庭のなかで家族となり、自然と人間の新しい共存の形が生まれる。また、この敷地は自然の公園として地域に開かれている。子供たちは自然環境に触れて育ち、自然と環境を大切に作る心が育まれる。畑で作物を育て自分たちの菜園としたり、季節の木を植え春には桜の下で花見をするなど、昔ながら日本にあった自然に親しんだ日常がおくられる。このように過ごすことで、住人の中に自然を大切に作る意識が生まれ、自然を大切に作る意識が環境の改善へとつながり、人々の意識革命「環境ルネサンス」となる。

『forest in city』がひとつの敷地から地域・社会へと広がっていくことで、自然環境主体思考の意識革命が広がり、地球環境問題解決に兆しが生まれてくるであろう。

山梨県甲府市塩部

Yellow	ginkgo	銀杏[ityou]
Pink	cherry blossoms	桜[sakura]
Brown	Japanese oak	樺[nara]
Red	maple	栂[momiji]
Orange	kind of oak	栲[kunugi]
Blue	camphor	樟[kusu]



F farm

site plan S=1:500

a PLAN

cafe・コンビニ・集会所の複合施設

b PLAN

建築面積 58.44㎡ 延床面積 58.44㎡

住宅 20代夫婦
東側に大きな仕事場を設ける

c PLAN

建築面積 111.65㎡ 延床面積 111.65㎡

住宅 30代夫婦、10代姉妹双子
バスルームを中庭沿いに設ける

d PLAN

建築面積 37.20㎡ 延床面積 37.20㎡

住宅 40代女性
生活に必要なスペースをコンパクトに収める

e PLAN

建築面積 138.37㎡ 延床面積 121.31㎡

住宅兼アトリエ 50代夫婦、20代男性
作家家族のアトリエも兼ねる

f PLAN

建築面積 141.89㎡ 延床面積 141.89㎡

住宅兼料理教室 30代夫婦
料理教室と住宅スペースを二分割する

g PLAN

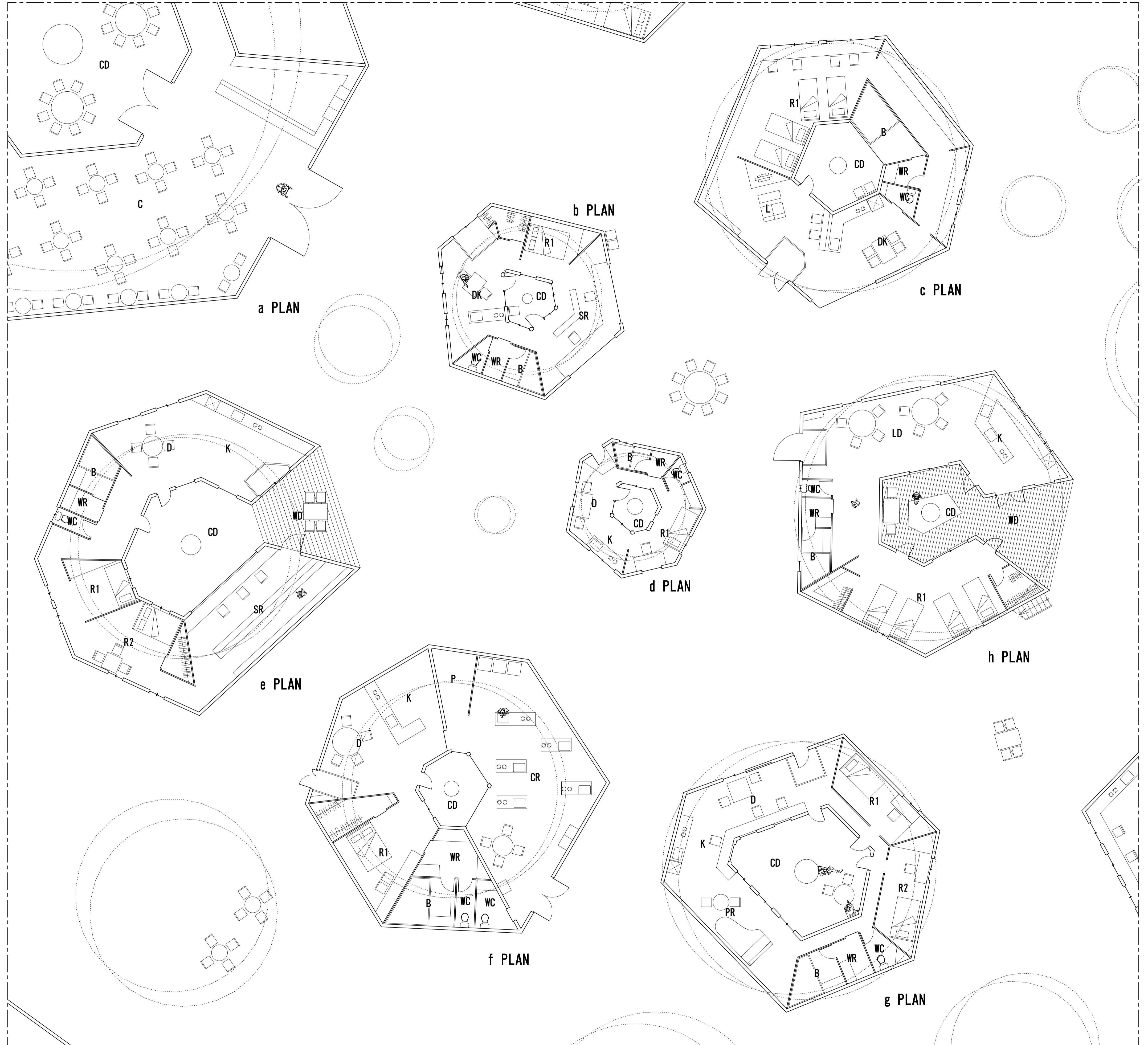
建築面積 93.90㎡ 延床面積 93.90㎡

住宅 20代男性、20代女性
ピアノを設置

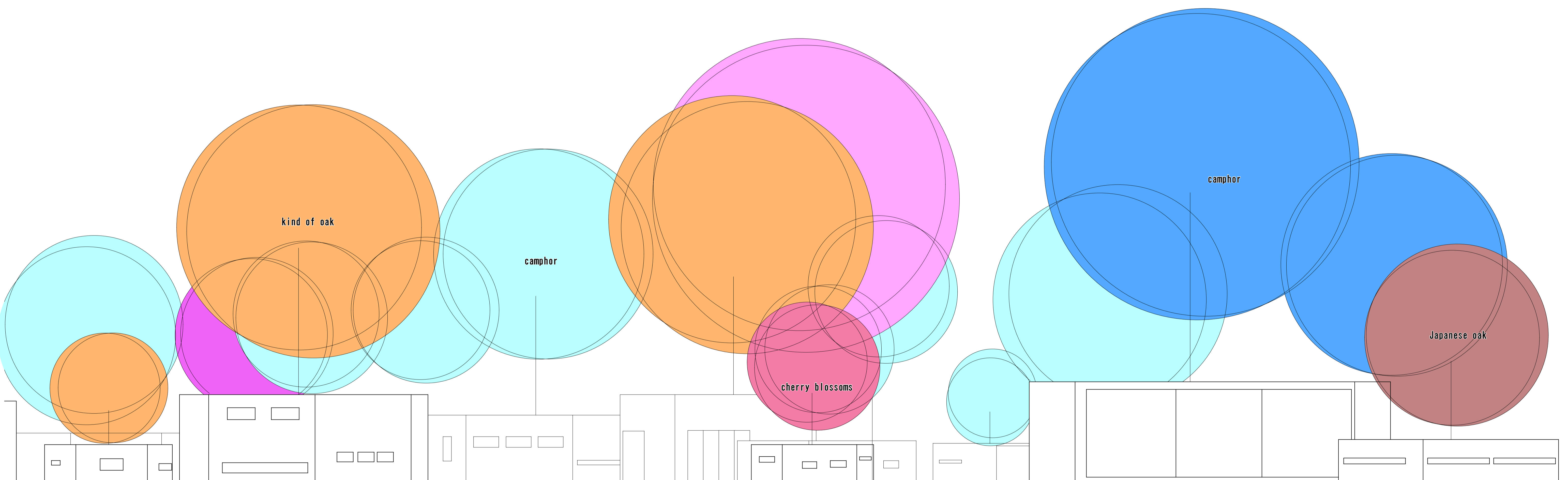
h PLAN

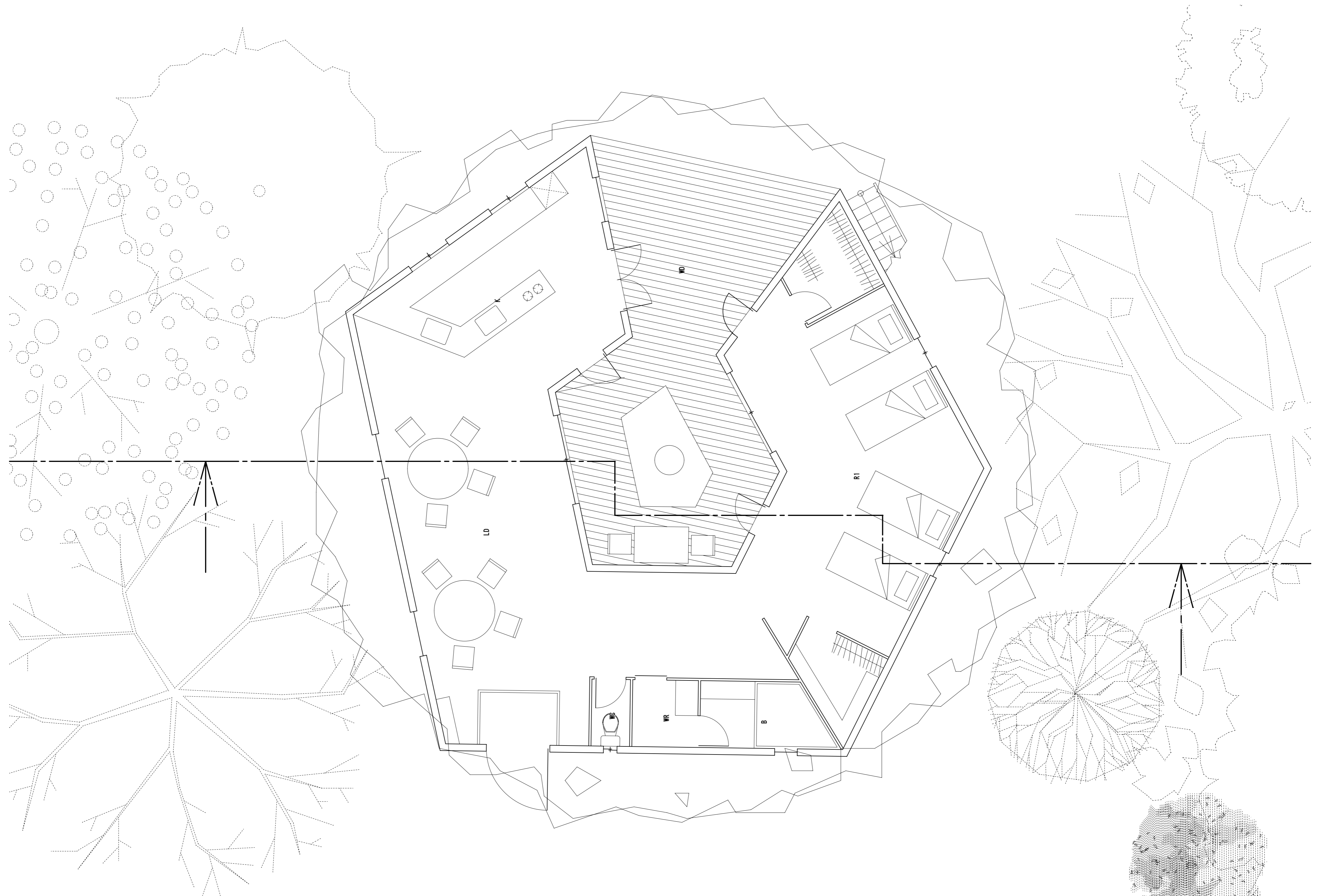
建築面積 122.79㎡ 延床面積 107.32㎡

住宅 30代夫婦、10代姉弟
ダイニング・キッチン・デッキを直結した



- C cafeteria
- CD center garden
- L living
- D dining
- K kitchen
- P pantry
- R(N) room(No.)
- SR study room
- B bathroom
- WR wash room
- WD wood deck
- PR piano room
- CR cooking room



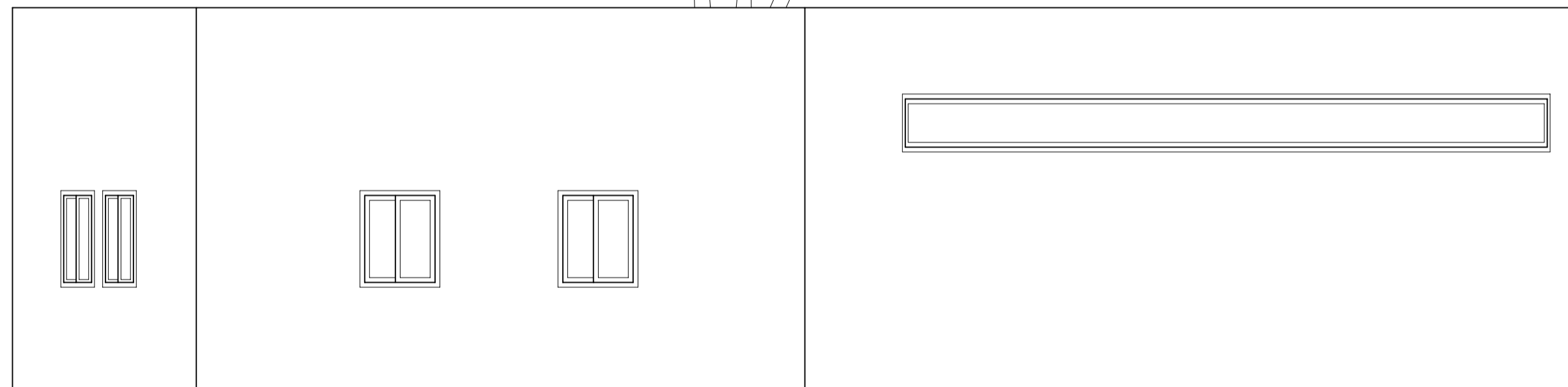


h PLAN house

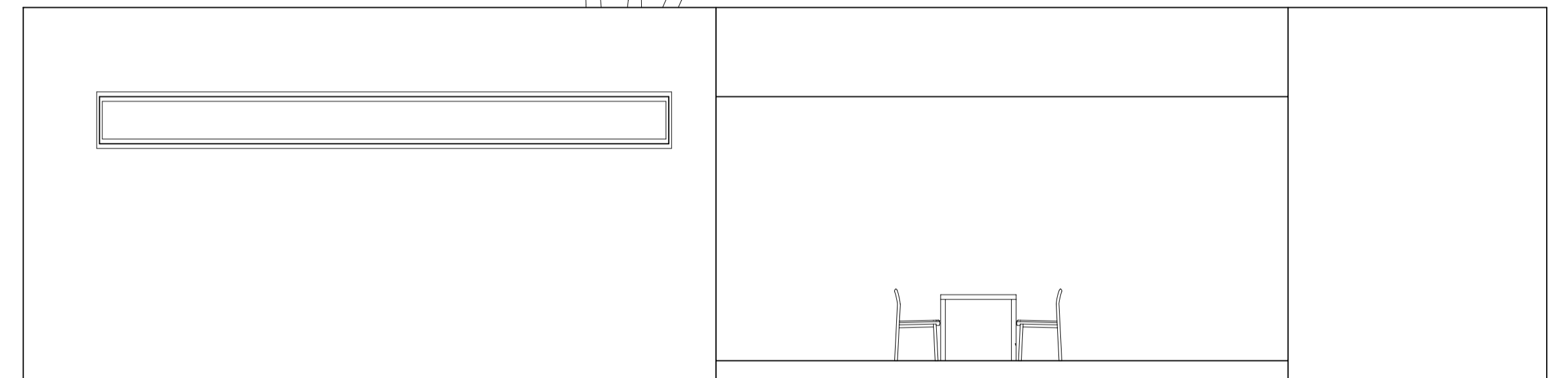


section S=1:50

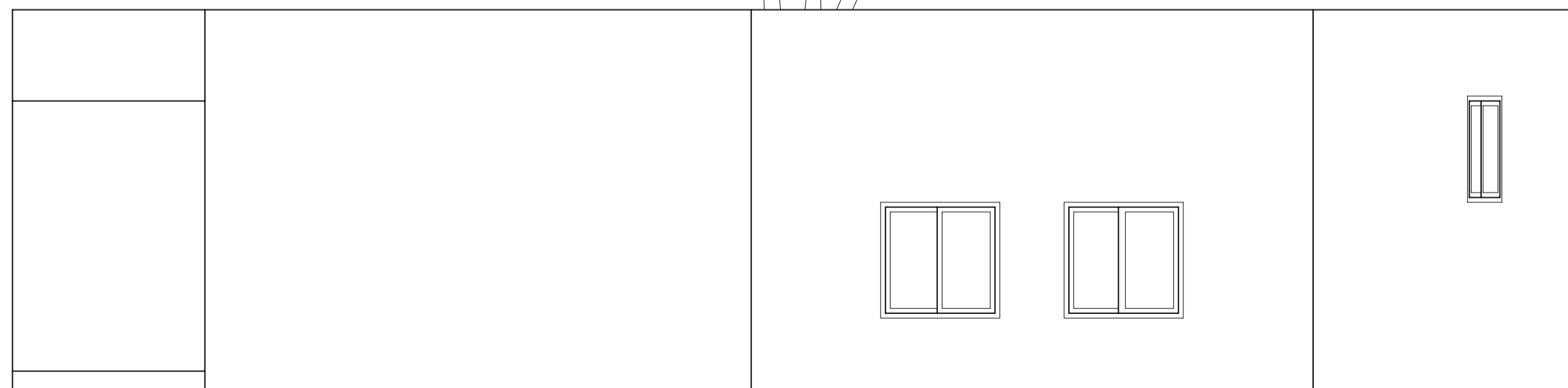
e PLAN house



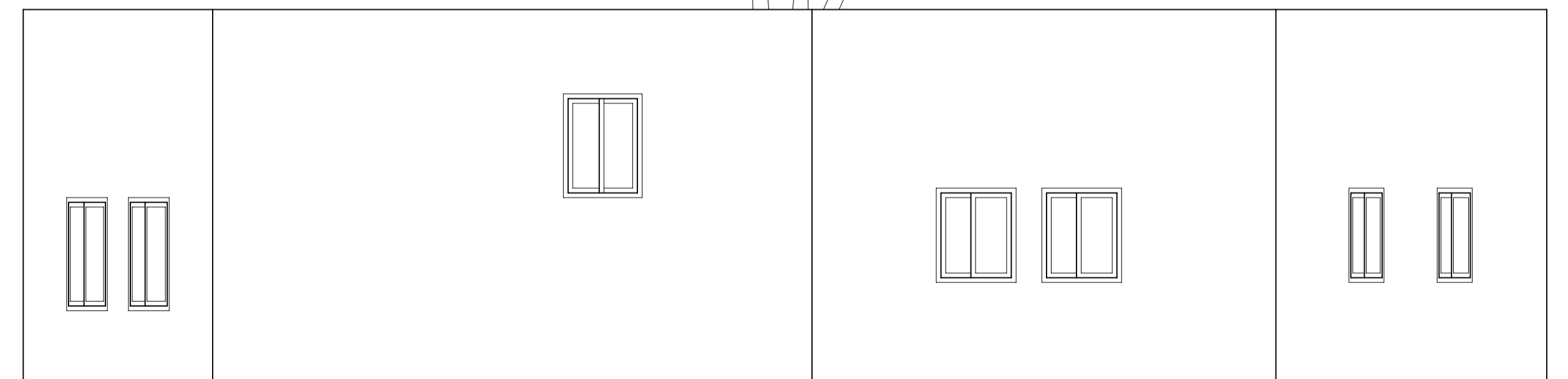
the south



the east



the north



the west

elevation

S=1:50

